

ー クリティカルケア認定看護師の役割と活動 ー

私は入職時より循環器内科看護に携わり、多くの循環器・心不全患者さんの看護に関わってきました。その中で重症心不全管理に興味を持ち、CCUへ配属となりました。拡張型心筋症や周産期心筋症患者さんとの関わりから、より質の高い看護を実践しチームに還元したいと思い2021年にクリティカルケア認定看護師を取得しました。クリティカルケア認定看護師は、2020年度より救急看護分野と集中ケア分野が統合され誕生しました。それに加えて特定行為を組み込んだ新しい認定看護師分野です。



CCUの多職種チーム

クリティカルケア認定看護師の役割として、重症患者の重篤化回避や合併症予防に対する全身管理や早期回復支援があります。

CCUに入床している心不全患者さんは、成人期から高齢期まで多様です。

個々の病態や背景を捉えながら実践する必要があり、同時に身体的苦痛や精神的苦痛といったさまざまな全人的苦痛を抱きやすく、そのような側面を理解しながら看護を実践することがとても大切です。そのためには多職種連携がとても重要となります。多職種連携することで多角的な視点で患者さんを捉えることができ日々チームとして団結しながら早期回復支援を実施しています。また、CCUには重症患者さんが多く、特に循環器は急変するリスクの高い疾患が多いのが特徴です。そのような緊急場面に対応するためにはチーム作りがとても大切であり、スタッフ教育やチーム全体の実践力の底上げも同時に実施しています。

院内活動では、呼吸の質と向上プロジェクトや循環器看護チームに所属しています。呼吸器を使用している患者さんの看護ケアや増加している循環器患者さんへ質の高い看護が提供できるように活動しています。院外活動では、東京都が主催する令和5年度心不全サポート事業に協力し、当院が区部地域の「心不全サポート病院」として本事業を推進しています。心不全患者さんが地域において安心して療養生活を送ることができる体制の構築に向けて、『BIND Region team』として活動しています。

2025年、日本では心不全パンデミックを迎えるといわれております。そのような時代に備えてタスクシフト・タスクシェアが重要であると考え、特定行為研修の8区分19行為を修了しました。例えば、患者さんの療養に合わせた気管切開カニューレの交換や病棟転出前の動脈ライン抜去など、日々の看護ケアの中で必要な特定行為を行うことで、より患者さんの療養生活に視点を置きながらリアルタイムなケアを実践することができます。特定認定看護師として研鑽（さん）しながらより良い看護ケアやスタッフ教育、院内横断活動に従事していきます。